

# 3804フレックステックスVT

## 可変テクスチャー塗料

フレックステックスVTは、自動車用テクスチャ加工をシミュレートする為に開発された可変テクスチャー塗料になります。ほとんどの仕上げのトップコートまたはアンダーコートに使用することが出来、ベース/クリアまたはシングルステージの塗装システムで上塗りすることが可能です。

フレックステックスVTは耐久性に優れており、黒色のテクスチャーが必要な仕上げコートとして使用できます。

### メリット:

OEMテクスチャをシミュレート  
希釈率とスプレー技術によりテクスチャーのサイズを調整する  
すべてのトップコートシステムに対応  
ブラックテクスチャーが必要な場合は、トップコートは必要ありません。

### アプリケーション:

最良の結果を得るには、320グリットでサンディングしたプライマーサーフェーサーの上にフレックステックスVTを塗装します。

テクスチャを構築するには、3～5回の軽めの「スプラッター\*」コートを適用し、コート間のフラッシュタイムを確保します。塗装ガンをすばやく動かし、塗料が流れ出ないようにします。ライトコートの場合は、ガンの吐出量を減らします。上塗りの前に、ライトコートの場合は30分間、厚塗りの場合は2～3時間乾燥させてください。Flextex VTの適用の詳細については、本紙裏面を参照してください。

\*ランダムに塗料の液滴を置くことを意味します。

フレックステックスVTは、ラッカーと互換性のあるトップコートシステムで上塗りすることができ

ます。水性塗料にも使用できます。  
使用後すぐにスプレーガンをラッカーシンナーで洗浄してください。

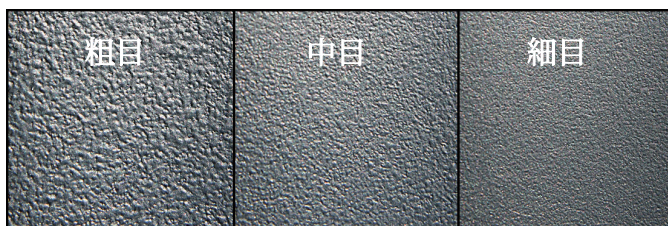
**テクスチャリングリファレンス:** テストパネルを使用して、希望するテクスチャーを決定します。レデュサーの量を制限し、ノズルを大きくし、ガンのエア圧を低くすると、最も粗いテクスチャーが生成できます。より細かいテクスチャーの場合は、適切なフレックステックスVTレデュサーの配合を多くします。

**テクスチャー粗目:** 1.8 mmのスプレーガンを0.06-0.1Mpaで使用してフレックステックスVTを8:1(塗料:レデュサー)で混合します。

**テクスチャー中目:** 1.4 mmのスプレーガンを0.06-0.1Mpaで使用してフレックステックスVTを3:1(塗料:レデュサー)で混合します。

**テクスチャー細目:** 1.4 mmのスプレーガンを0.06-0.1Mpaで使用してフレックステックスVTを1:1(塗料:レデュサー)で混合します。

実サイズテクスチャー



### 製品仕様書

品番	積込み重量	寸法
3804-1 フレックステックスVT	3.77 kg	直径16.5cm×高さ19cm
3804-4 フレックステックスVT	1.09 kg	直径10.8cm×高さ12.7cm
※3804N-4 スタンダードレデュサー	1.00 kg	縦5.8cm×横11cm ×高さ19cm
3804R-4 0 VOC レデュサー	1.09 kg	縦5.8cm×横11cm ×高さ19cm
※3804K スタンダードキット	2.50 kg	縦12.7cm x横 19.05cm ×高さ20.955cm
3804KZ Low VOC キット	2.50 kg	縦12.7cm x横 19.05cm ×高さ20.955cm

※3804N-4、3804Kは、本国バックフロー製品になります。

3804-1, 3804-4 VOC: 328 g/L

3804R-4 VOC: 0 g/L

3804N-4 VOC: 755 g/L

性質テスト:

引火点 > 44°C)  
密度 > 8.2 lb/U.S. gal

追加の安全情報については、SDSおよび製品ラベルを参照してください。

Polyvance authorized international master distributor

ポリバンス 日本総代理店

有限会社ティークラフトプラスティックリペア事業部

TEL:0564-28-5319 FAX:0564-28-5399

E-mail:info@jyusiripea.com URL:https://jyusiripea.com

# Polyvance

ADVANCING POLYMER REPAIR

お問合せは、下記販売代理店まで

t-craft PLASTIC REPAIR DIVISION



# 標準作業手順書: 3804 Flextex VT テクスチャー塗装

**\*Use proper protective equipment while working around chemicals.\***

1. 下地処理剤等で、パーツを綺麗にし、濯いで乾かしてください。1001-4エコブレップ又は1000-1スーパーブレッププラスチッククリーナーをたっぷり塗り、油分、汚れ等を拭き取り塗面を綺麗にします。拭き取り時、繊維がつかないタオルで、乾拭きしてください。



2. OEMのテクスチャーと試し吹きしたテクスチャーリファレンスカード比較し、適切なFlextex VT削減比率とガン設定を特定します。テクスチャーはスプレーガンとガン設定によって異なります。独自のカスタマイズされたテクスチャーリファレンスカードを作成することをお勧めします。



テクスチャーリファレンスカードデータがない場合は、以下の表に従って3804 Low VOC Flextex VTと3804 Reducerを体積比で混ぜます。望むテクスチャーに基づいて適切な混合比率を選択してください。例えば、よりシボ目の粗いテクスチャーを作りたい場合は、FlextexVTとReducerの比率を高くすることができます。成分をしっかりと混ぜ合わせ、必要に応じて調整して望む濃度の状態になるようにしてください。

Volume Mixing Ratios (fl. oz.)						
Texture Appearance & Reduction Ratio	200ml		500ml		1000ml	
	3804	3804 Reducer*	3804	3804 Reducer*	3804	3804 Reducer*
粗目 8:1	177.8ml	22.2ml	444.4ml	55.6ml	888.9ml	111.1ml
中目 3:1	150ml	50ml	375ml	125ml	750ml	250ml
細目 1:1	100ml	100ml	250ml	250ml	500ml	500ml

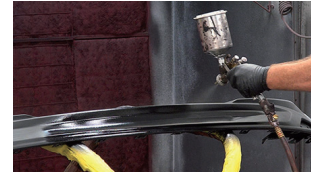
3. 修理箇所をペーパー# 180で研磨し、修理箇所から徐々にフェザーバックさせます。もし希望があれば、仕上げ時により均一な外観を得るために、テクスチャー全体を研磨することもできます。その後、ペーパー# 320で軽く全体のテクスチャー部分を研磨します。テクスチャーを完全に滑らかに研磨しようとするのではなく、テクスチャーの表面を平らにすることを目指します。埃を吹き飛ばしてください。



4. スカッフパッド# 320でテクスチャー全体を軽く足付けします。埃を吹き飛ばしてください。
5. プライマー施行箇所に1051 Low Voc プラスチックマジック (または1050 プラスチックマジック) の接着促進剤を、1~2回のセミウエットコートでスプレーします。プラスチックマジックを10~15分間乾燥させます。



6. 3043 オールシーズンズブラックジャック水性プライマーサーフェーサー (または希望するプライマーサーフェーサー) を塗装します。修理箇所から元のテクスチャーに向かってブレンドしながら、セミウエットコートで、2回塗り重ねます。各コートの間には、適度な乾燥時間を設けてください。



7. プライマーサーフェーサー乾燥後、320グリッドのペーパーで研磨します。不完全な箇所をスポットパテ等で埋めます。必要に応じて、残っているTPOの繊維状のふわふわ感や80番のキズをなくすために、320番で研磨し、再度プライマーサーフェーサーを塗装します。スカッフパッド# 320でプライマーをこするように軽く足付けします。元のテクスチャーにフェザーバックさせます。埃を吹き飛ばし、タッククロスでふき取ります。再テクスチャリングする全体の箇所に1050または1051プラスチックマジックを塗布しますが、プライマーサーフェーサーには、プラスチックマジックを塗布する必要はありません。



8. スプレーガンに、ステップ2で決定したテクスチャーに合わせて調合したFlextexVTを充填します。ガンのノズルサイズ、ニードルの設定、およびエア圧は、粒子サイズを微調整するために調整する必要があります。テクスチャーをパーツに塗装する前に、ガンの設定をサンプルカードで調整してください。



9. プライマーサーフェーサーを塗装した箇所のみ、FlextexVTを2~3回塗装して再テクスチャリングを開始します。各コートで、プライマーサーフェーサー部分から向かって広げながら塗り重ねてください。表面には塗装時の液滴をまだら模様で塗布すること、液滴が一緒になるのを防ぐことが非常に重要です。Flextexを適用する際の一般的な不具合は、過剰なウエットコートにより塗装を流し出すことです。

もし光沢のある箇所や不均等な箇所がある場合は、ペイントが完全に乾燥させ、スカッフパッド# 320で部品全体を軽く足付けします。埃を吹き飛ばし、タッククロスでふき取った後、テクスチャーの外観を均等にするために部品全体にさらにFlextex VTを塗布してください。

10. サテンブラックの外観を望まれる場合は、Flex VTそのままをトップコートせずにご利用することができます。異なる色が必要な場合は、FlextexVTが完全に乾燥した後、赤いスカッフパッドで軽くスカッフし、タッククロスでふき取り、その後、ベース/マットクリアコートまたは硬化ベースコートでトップコートを行ってください。

